

ボランティア・市民活動情報誌

# COMVO

Communication & Voluntary

2024

5  
月号

vol. 286

特集

みんなが主役！地域共生のまちづくり

地域で支え合う防災を

こどもぐるみで考え、備える

7 こどもたちが身近に音楽とふれる機会を提供

株式会社 三菱UFJ銀行 × 社会福祉法人 大念仏寺社会事業団

8 ボラ基金交付団体へ突撃取材

平日のひとときに、楽しい生演奏をお届け

ウィークデイアンサンブル





楽しいワッキングを通じて、子どもたちに防災を伝える

## 地域共生のまちづくり

# 地域で支え合う防災を 子どもぐるみで考え、備える



2月3日(土)、大阪市中央公会堂において、『地域こども支援ネットワーク事業』と『広がれボランティアの輪』連絡会議の共催によるシンポジウムを開催しました。

テーマは『こどもや若者と取り組む災害にも強い福祉のまちづくり』。いつ、どこで起こるか分からない地震や豪雨などの災害に、我が事として備えること。そして災害時には地域がひとつとなって助け合うためにはどんな仕組みづくりが必要なのか?を、基調講演やパネルディスカッションを交えながら、約400人の参加者とともに考えました。

### 子どもたちを主体者に 防災教育を考える



第部の基調講演では、『一般社団法人「コミュニティ・4・チルドレン」代表の栗原英文さん(以下、栗原さん)が登壇。『コミュニティ・4・チルドレン』は、東南アジアや日本国内のNGO/NPOと連携し、子どもたちの健全な成長を支



えるコミュニケーションを進めている団体です。

乗原さんは『阪神・淡路大震災』（1995年）以来、『能登半島地震』（2007年）、『東日本大震災』（2011年）などの被災地で、災害復興支援活動に参画。講演では、今年1月1日に起きた『令和6年能登半島地震』で被害に遭われた皆さんの状況を案じながら、宮城県を中心とした防災教育について紹介してくれました。

「東日本大震災から1年が経過した頃、宮城県内の福祉関係者や子ども支援者、大学生たちと、まだまだ今まで通りの暮らしに戻れない人が多くいる状況の中で何をしていくべきかを、じっくり話し合いました」と、乗原さん。

話し合いの中で多く聞かれたのが、震災直後、避難所などで「こどもたちが



コミュニティ・4・チルドレン代表 乗原英文さん

自発的に手伝いをしてくれる姿が印象的だった」という声です。そしてこれからの地域づくりは、大人も子ども一緒になって考えていく必要があるという思いを共有。こどもたちも主体者であるという意識を大切に、現地団体と連携しながら、宮城県における新たな福祉・防災学習の取組みが始まりました。

### 防災を知り、自ら考える 学びを宮城県から発信

学びについて、乗原さんたちが重きを置いたのは、こどもたちが防災について知り、自ら考える機会をつくること。そして数年をかけて制作したのが、災害直後の助け合いの心を学ぶ『防災すごろく』と、いろんな人の立場になって、災害時に必要な物を考える『持ち出し品ゲーム』です。

「災害時のリアルなことを学んでもらいたく、ゲームの中には、避難所で生活していた人から聞き取った話などをクイズとして盛り込んでいます。当初は災害をゲームで学んでいいのだろうか？と考えましたが、当事者であっても年月とともに記憶が薄れ、危機意識が下がっている。そんな中で本当に大切なことを伝えていきたい」と、地元の人たちが応援してくれました」と、乗原さん。

加えて乗原さんたちは、食は生きる



災害時の持ち出し品を、こどもなりの視点でゲームでシミュレーション

ための重要な要素」との思いから、地元の主婦グループや管理栄養士をめざす学生たちの協力を得て、カセットコンロ一台で作れる『防災レシピカレンダー』を監修し、他県でもワークショップを開催。「これら宮城発のツールがごんごん各地に広がり、地域ごとの特色に合ったオリジナルに変わってほしいな」と思っています」と話します。

また宮城県各所では、豪雨災害などが起きた時、被災地域で暮らす小・中学生が被災者宅を訪問し、話を聞かせてもらう「生きた防災学習」も広がって

ると紹介。こどもは守り育てるだけの存在ではなく、自分たちの力になってくれる存在だと訴えました。

そして最後に、「私たちは支えることが必要な人を真ん中に、助け合って地域づくりをしています。そして災害が起きた時には、普段のつながりをもって命を助け合う。これが『災害にも強い福祉のまちづくり』ではないでしょうか。助け合うということを感じ取る取組みを積み重ねることが、きっと災害の時の原動力になると信じています」と締めくくりました。



被災者から災害時の話を聞き取るこどもたち

## 自分が暮らす地域での 防災を考えてみよう

第二部では、『社会福祉法人 大阪ボランティア協会』事務局長の永井美佳さんがコーディネーターとなり、3人のパネリストを招いてパネルディスカッションを実施。『こども×防災×ボランティア』をテーマに、私たちが暮らす地域で、防災について知り、つながり、誰もが我が事として捉えるためにできることについて考えました。

「私は高齢者向けのスマホ講座を実施しながら、皆さんのスマホに、防災アプリを入れてもらっています。すると皆さん、大雨の時なども通知が来ます。そんな風にクチコミの効果を生かした仕掛けづくりをしています。」



地域での防災についてパネルディスカッション

そう話すのは、大阪市生野区を中心に活動する『NPO法人 輪母ネットワー』代表の永松なつめさん（以下、永松さん）。区内のご



左から、コーディネーターの永井美佳さん、永松なつめさん、出水眞由美さん、多田裕亮さん

も支援連絡会で毎月勉強会を行い、そこでも防災を取り上げるなど、横のつながりづくりにも力を注いでいます。

「地域に特化した取組みは本当に大切だと思います。例えば、町にあるあの場所が防災船の船着場になるんだよとか、自分の行動範囲の中で情報が出てくると、一気に距離が縮まり、我が事になるような気がします。」

永松さんの意見を受けて話すのは、『大阪防災企画』代表の多田裕亮さん（以下、多田さん）。多田さんは防災啓発ボランティアとして『防災散歩』を定期的に開催。地域を知り、防災にふれる機会を多くの人に提供してきた経験を話してくれました。

※1 障がい児者と家族、支援者、地域がつながる「コミュニティ」として『わははハウス』を運営。誰ひとり取り残さないための防災活動に

※2 も取り組んでいる。大阪を拠点に、防災講座やイベントなどを企画運営するボランティア団体。多田さんは、淀川右岸水防団員や地域防災リーダーとしても活動中。

## 普段から地域でつながり 防災にも強い大阪の町へ

もつひとりのパネリスト、『ママコミュニティドットコム』代表の出水眞由美さん（以下、出水さん）は、生モノの防災力をこどもたちの生きる力につなげたいという考えから、こども期からの防災教育に取り組んでいます。

「例えば防災フッキングを経験したとき、上手にできたけど誰に教えてあげたい？とこどもたちに聞くと、田舎のおじいちゃん、クラスの外国人の友達、などと返事が返ってきます。自分が得た知識や情報を、災害時に誰に伝えたら有意義かをきちんと考えてくれているところが本当にすごいなあと思います」と、微笑ましいエピソードを話してくれました。

3人のパネラーの意見から見えてきたのは、人から人へ、伝えたいくなることの大切さ。楽しそう、役立つそうというエッセンスを加えながら伝えていくことで、つながりは進んでいくのではないかということでした。



アルファ化米を使った、おやつ作りを体験

「私も含め防災活動に関わっている人は、つい自分が主体となって進めることが大事だと思いがちです。しかし、学び、しくみをつくり、変えていくのは、あくまでも当事者。私たちは見える黒子になって、地域の皆さんが舞台で演じる機会をつくるのが大事なんだなあと、今回は考える時間になりました」と、栗原さんが最後に振り返りを述べ、シンポジウムは終了しました。

普段から地域で助け合い、災害時にも住民主体で向き合い、つながっていく。そんな大阪の町をめざして、私たちも、一人ひとりにできることを考えてみませんか。

※3 子育てを助け合える地域「コミュニティ」をめざし、親子を対象とした防災教育にも着手。家族全員が防災士資格を持ち、母、父、こども、それぞれの視点で防災啓発に力を注いでいる。

地域こども支援ネットワーク事業事務局

TEL:06-6765-4041

Eメール kodomo@osaka-sishakyo.jp

# ボランティア活動総合補償制度のご案内

## ボランティア活動保険

補償概要	<p>ボランティアの方が日本国内における、ボランティア活動中に、</p> <p>①急激かつ偶然な外来の事故によるケガ（傷害補償）</p> <p>②偶然な事故によって他人の生命や身体を害したり、他人の財物を滅失、破損または汚損した場合に、法律上の損害賠償責任を負担することによって被る損害（賠償責任補償）</p>		
加入対象	<p>社会福祉協議会で、把握または登録（届出または委嘱等の手続きを経ており）している社会福祉協議会の活動趣旨に準じたボランティア活動を行うボランティア団体、個人</p>		
保険期間	<p>毎年4月1日から翌年3月31日まで</p>		
対象活動	<p>①自発的な意思により他人や社会に貢献することを目的とし、日本国内で取り組まれる活動であること</p> <p>②所属ボランティア活動団体の会則に則り、企画立案された活動や、社会福祉協議会へ届け出たり、社会福祉協議会の委嘱を受けた活動であること</p> <p>③無償の活動であること（交通費、食事代など費用弁償程度の支給は無償の範囲に含まれます）</p>		
年間保険料 （1人）	Aプラン	Bプラン	Cプラン
	300円	500円	600円

## 非営利・有償活動団体保険

（団体・グループで加入）

補償概要	<p>非営利・有償活動中に、</p> <p>①急激かつ偶然な外来の事故によるケガ（傷害補償）</p> <p>②偶然な事故によって他人の生命や身体を害したり、他人の財物を滅失、破損または汚損した場合に、法律上の損害賠償責任を負担することによって被る損害（賠償責任補償）</p>	
加入対象	<p>社会福祉協議会や加入要件を満たした、非営利活動を実施する団体・グループ</p>	
保険期間	<p>毎年4月1日から翌年4月1日まで</p>	
対象活動	<p>①福祉・文化・保健衛生・自然環境などの分野における『営利目的ではない社会貢献活動』であること （例）配食サービス・訪問サービス・手話通訳・環境調査など</p> <p>②サービス提供先（利用者）から実費（交通費・食事代・材料費）を超える対価を得ていること</p> <p>③その他、大阪市の社会福祉協議会と保険会社において適当と認められた活動であること</p>	
年間保険料	Aプラン	Bプラン
	<p>加入時期により金額が異なります。 〈Aプラン・Bプラン共通〉 感染症見舞金【オプション】1,870円/人 ※加入時期に関わらず一律</p>	

詳細はパンフレットをご確認ください

大阪市ボランティア・市民活動センターと、各区ボランティア・市民活動センターでご加入いただけます

### ●お問合せ先

制度運営

大阪市ボランティア・市民活動センター

〒543-0021 大阪市天王寺区東高津町12-10 大阪市立社会福祉センター1F

TEL.06-6765-4041 FAX.06-6765-5618

取扱代理店

各種損害保険・生命保険取扱 株式会社島本保険事務所

〒541-0056 大阪市中央区久太郎町4-1-3 大阪センタービル2階

TEL.06-6252-4519 FAX.06-6245-4686

## ■ 気軽に始めてみませんか？ 私たちにできること

災害時、まず取るべきは「自分の身は自分で守る」という『自助』の行動です。そして、さらに多くの尊い命を守り、災害の被害を最小限に抑えるためには、阪神・淡路大震災のケースのように、近隣住民同士で互いに助け合う『共助』の意識や行動がとても重要になります。

しかしその一方、大阪などの都市部では、近隣住民同士のつながりの希薄化が進んでおり、災害時などへの不安を感じている人も多いのではないのでしょうか？

いざ!という時にも助け合える、ご近所さんとのつながりづくり。無理をせず、できることから、そして今日から始めてみませんか？



## 助け合いの地域づくり。できることから始めてみよう

- お隣さん、ご近所さんと、あいさつや日常会話をしよう
- 町内会やお祭りなど、地域の行事に参加してみよう
- 地域での役割(自治会役員など)は、避けて引き受けよう
- 地域での防災訓練に参加してみよう
- もしも地域で災害が起きたら?散歩しながらイメージしてみよう



## ■ 困っている人を見かけたら普段からすすんで声かけを

妊婦や外国人、高齢者、障がいのある人など、私たちの周りにはさまざまな支援を必要としている人がいます。万が一の災害時には、そんな人たちが安全な場所に避難したり、安心して避難先での生活ができるようにサポートを行いたいものです。そのためにも普段から、困っている人を見かけた時にはすすんで声をかける習慣づくりを。以下のマークの意味についても、理解しておきましょう。

### 配慮を必要とする人を示すマーク



#### ヘルプマーク

義足や難病など外見では分からないが、配慮を必要としていることを知らせるマーク



#### ハート・プラスマーク

心臓、呼吸機能、消化機能、免疫機能など、身体内部に障がいがある人を表すマーク



#### マタニティマーク

母子ともに非常にデリケートな状況にある、妊娠中のお母さんが所持しているマーク



#### 耳マーク

聞こえが不自由なことを表し、筆談や手話、ゆっくり話すなどの配慮を求めるマーク



#### 白杖SOSシグナル

視覚に障がいのある人が、白杖を頭上50cm程度に掲げてサポートを求める「白杖SOSシグナル」運動のシンボルマーク。

### 障がいに対応する施設のマーク



#### 障がい者のための国際シンボルマーク

障がいのある人が利用しやすい建築物や公共交通機関であることを示す、世界共通のマーク



#### 視覚障がい者のための国際シンボルマーク

視覚障がい者の安全を考慮した施設や機器などに付けられている、世界共通のマーク



#### ほじょ犬マーク

補助犬(盲導犬・介助犬・聴導犬)を受け入れる店の入り口などに貼られるマーク



#### オストメイトマーク

オストメイト(人工肛門・人口膀胱を造設した人)対応のトイレなどの設備があることを示すマーク



# 普段からのつながりで 災害にも強い、まちづくり

～地域防災について考えてみよう～

## 阪神・淡路大震災で注目された 地域での助け合いのチカラ

1995年に発生した阪神・淡路大震災は、大都市を直撃した極めて大きな地震災害でした。木造住宅が密集した地域では多くの建物が倒壊し、市街地のいたる場所で大規模火災が発生。すべての地域に消防、警察、自衛隊など行政の救援隊が十分にいきわたることは極めて難しい状況となりました。

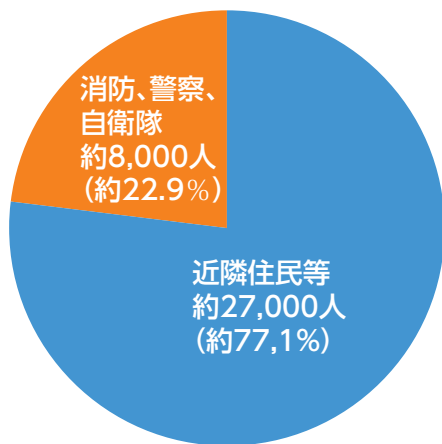
そんな中、阪神・淡路大震災では、倒壊した建物から救出され、生き延びることができた人の約8割が家族や近隣住民などによって救出されたという調査結果があります(図表1)。また別の調査では、自力での脱出や、家族、友人、隣人などによって救出された割合が約9割を超えており、救助隊によって救助されたのは2%にも満たなかったという調査結果もあります(図表2)。

このように大規模広域災害時には行政の救助隊が速やかに到着することは難しく、災害時に備えた『自助』『共助』の取組みは、とても大切なことが分かります。



図表1

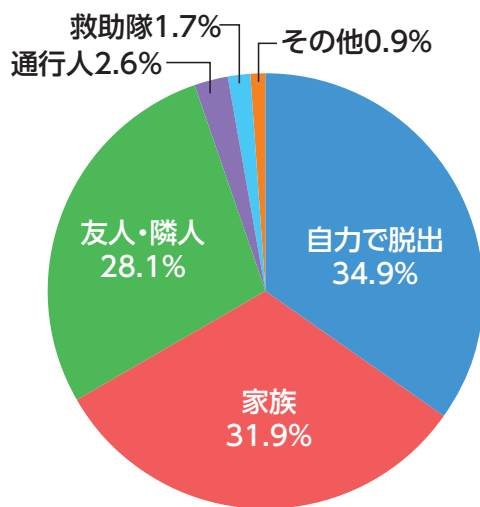
阪神・淡路大震災における救助の主体と救出者数



出典:河田恵昭(1997)「大規模地震災害による人的被害の予測」自然科学第16巻第1号より内閣府作成

図表2

阪神・淡路大震災における生き埋めや閉じ込められた際の救助主体等



標本調査:(社)日本火災学会(1996)「1995年兵庫県南部地震における火災に関する調査報告書」参照

出典:内閣府 防災情報のページ  
[https://www.bousai.go.jp/kaigirep/hakusho/h26/honbun/0b\\_5s\\_01\\_00.html](https://www.bousai.go.jp/kaigirep/hakusho/h26/honbun/0b_5s_01_00.html)  
 大阪市自主防災活動マニュアル本編



# こどもたちが身近に音楽とふれる機会を提供

株式会社三菱UFJ銀行 × 社会福祉法人 大念仏寺社会事業団

**社会貢献活動チームを結成し、自分たちができることを**

『株式会社三菱UFJ銀行』の大阪営業本部では、有志の社員たちで「普



J-POPの人気曲を演奏&歌唱

段、音楽にふれる機会が少ないこどもたちに音楽鑑賞を楽しむ機会を提供したい」と考え、社会貢献活動チーム（以下、チーム）を結成。

地域のこどもたちが集う場に対して寄附を渡すだけではなく、こどもたちと一緒に音楽を「一杯楽しめるイベント」の開催に向けて動き始めました。

そんなイベントを開催する舞台となったのは、平野区にある『社会福祉法人 大念仏寺社会事業団』（以下、大念仏寺社会事業団）。大念仏寺社会事業団はさまざまにまな児童福祉施設の運営や、地域におけるこどもたちの居場所としてのこども食堂を実施しています。そんな背景もあり、大念仏寺社会事業団の杉田一博さんは、チームとの初めての打合せ後、「法人としても良い取組みだと思えます。ぜひお願いします」と、開催することに快く了承。チームでは、事前にこどもたちからのリクエストを受け、音楽鑑

賞イベントの本番に向けて、それぞれが得意とする楽器の猛練習が始まりました。

## 会場全体で楽しむ音楽鑑賞イベントをこどもたちへ

開催当日、会場となった大念仏寺社会事業団の地下ホールはおよそ50人のこども達でいっぱい。

ステージには、ギターやドラム、キーボードなどが配置され、こどもたちはこれから何が始まるのかと目を輝かせながら見つめています。

そんな中、音楽鑑賞イベントがスタート。今回のプログラムは、チームによるバンド演奏&歌唱と吹奏楽団による演奏です。

イベントは、誰もが聞き覚えのあるJ・POPの人気曲の演奏だけでなく、吹奏楽団によるディズニーのダンスミュージックや人気アニメの主題歌も次々と演奏され、こどもたちは大声で歌って踊って、会場全体は大盛り上がり。



ポンポンを振りながら歌って踊って大はしゃぎ

今回の音楽鑑賞イベントを終え、チームの皆さんは「こどもたちの無邪気な笑顔を見ていると、本当に癒されました。また、そんな彼女らの未来は、我々を含む社会全体でサポートしていかねばなりません。そのために微力でもできることを続けていきたいと強く感じました」と、とても優しい笑顔で話してくれました。

地域こども支援ネットワーク事業事務局

TEL:06-6765-4041

Eメール kodomo@osaka-sishakyo.jp



# ※令和5年度大阪市ボランティア活動振興基金 運営継続支援交付団体へ突撃取材

※福祉課題・地域課題に取り組み活動の継続を目的とした団体の支援

## 平日のひとときで、楽しい生演奏をお届け

### ウィークデイアンサンブル

『ウィークデイアンサンブル』は、いきいきシニアライフで〜をモットーに、平日、大阪府下を中心とした、高齢者介護施設、有料老人ホーム、デイサービスセンターなどに生演奏を届けているボランティア演奏楽団です。

ヴァイオリンなどの弦楽器、フルート、クラリネット、ピアノの美しい音色で奏でるのは、童謡や唱歌、昭和時代の懐かしい歌謡曲など。ボーカルの歌声に合わせて、訪問先の皆さんと一緒に



アンサンブルの美しい音色を各地へお届け

歌つてもらうミニコンサートは、どこに行っても大好評です。

「音楽を通して、高齢者の方々に明るく心が潤つひとときを過ごしてもらえれば、演奏を終えて帰る時に、皆さんが笑顔で声をかけてくださるのが何よりの励みです」と、代表の阪田孝仁さん。これまでおよそ27年間の活動で、レパートリーは100曲以上。若い頃から音楽好きなメンバーが集まって一緒に演奏を楽しむことが長続きの秘訣だと話します。

昨年5月には、西區区民ホールで楽団主催の演奏会を初めて開催。さらに今年の3月には西消防署フェスタに参加するなど、活躍の場がますます広がりにつつある『ウィークデイアンサンブル』。たくさんの方に演奏を届けていきたいと、意気込みは高まるばかりです。

ウィークデイアンサンブル

Eメール weekday1997@gmail.com

# おいでよ!

## 地域のマドモたち

こども食堂や学習支援など、大阪市内各地で広がる『マドモ』の居場所づくりの取組みをご紹介します。

### 栄養満点のデコカレーがマドモにも大人気!

子ども食堂あいカフェ(都島区)

代表の藤井さんは、こどもや保護者の孤立などに課題意識を持ち、2年前に『子ども食堂あいカフェ』(以下、あいカフェ)を立ち上げました。運営スタッフは保育士や教師など様々な経験を積んだ子育て中のママたちが中心。食事のメニューはスタッフの栄養士たちが作った『あいカフェ』名物のかわいい『デコカレー』で、季節の野菜がたっぷり入って、栄養満点です。

『あいカフェ』では、大きな愛でこどもたちを包み込むこと、スタッフが楽しむことを大切に、それぞれの得意分野を持ち寄つてのびのび自由に運営しています。互いに助け合い支え合い認め合うスタッフのあたたかい雰囲気や伝わり、こどもたちも保護者も自然体で過ごします。中高生の小部屋では、クロスを敷いたテーブルでティータイムを楽しむ姿も。

これからの活動について藤井さんは、「地域のこどもたちに必要とされている間は続けたいです。こどもたちが成長するにつれて求められるものは変化していきますが、その変化に合わせてられるように私たちも日々成長していきたいです」と話してくれました。



ごはんを型取り、海苔でかわいく飾りつけ

子ども食堂 あいカフェ

Eメール aicafe.smile@gmail.com

ボランティア募集、イベント・セミナー情報いっぱい!

# 情報マーケット

Information Market

『参加してみたい!』と思ったり、  
内容について聞いてみたいことがあれば、  
各団体まで直接『コンボを見て』とお問い合わせください。



ボランティア  
募集などの情報



イベント・講座・  
セミナーなどの情報



その他、助成金  
などの情報

OCVAC のウェブサイトから  
団体ホームページに簡単アクセス!

- 1 気になる情報があれば、スマホで下記QRコードをQRコードリーダーで読み取る
- 2 画面を下にスクロールして『COMVO』最新号の表紙写真をタッチ
- 3 情報マーケットページで、気になる情報掲載団体の URL をタッチ
- 4 団体ホームページにアクセスできます!



★『COMVO』のバックナンバーもご覧いただけます

## ④第25期介護オンブズマン養成講座

介護保険市民オンブズマン機構大阪

<https://o-netnp.o.site/>

土日祝



介護施設を訪問し、入居者と話したり、観察から気づいたことを施設に伝えたりして、介護の向上を図ります。介護現場を見て・知って・学べる活動です!

日程 基礎講座7講座は4月中旬に順次配信  
スクーリングは5/11(土)13:00~17:20

場所 PLP会館 3階(北区天神橋3-9-27)  
JR[天満]駅から徒歩5分  
地下鉄[扇町]駅から徒歩5分

人数・条件 大学生以上 定員:30人  
参加費:4,000円(資料代込)

申込方法 電話・FAX・Eメール・郵便・HP・来所 締切:4/25(木)

問合せ▶ 〒530-0041北区天神橋3-9-27 PLP会館  
TEL/06-6949-8192 FAX/06-6949-9296 Eメール o-netnp@train.ocn.ne.jp

## ⑤2024年度 点訳ボランティア養成講習会のご案内

社会福祉法人 日本ライトハウス 情報文化センター

<https://www.lighthouse.or.jp/iccb/>

平日



正確な点字図書製作に必要な知識と技術の習得を目的としています。  
初心者の方に向け、点訳の基礎的な内容からパソコン点訳まで行います。

日程 事前説明会および試験:4/30(火)  
初級:5/14~7/23(毎週火曜)  
中級:9/3~12/10(10/8,11/19を除く火曜) 各日13:00~15:00

場所 日本ライトハウス情報文化センター 4階会議室(西区江戸堀1-13-2)  
地下鉄[肥後橋]駅2番出口から出てすぐ左  
地下鉄・京阪[淀屋橋]駅6番出口から西へ400m

人数・条件 講習会後、当館で点訳ボランティア活動できる方  
参加費:1,540円(テキスト代) 定員:10人

申込方法 FAX・Eメール 締切:4/25(木)必着  
※当館のHPに掲載している「講習会のご案内」を必ずご確認ください。  
※申込みの際は「申込書」にご記入の上、メールかFAXでお送りください。

問合せ▶ TEL/06-6441-1028 FAX/06-6441-1036  
Eメール tenji@iccb.jp

## ⑥「第45期 お話の語り手講座」受講生募集

なにわ語り部の会

「いつでも、どこでも、お話を」と、素語りでお話ボランティア活動をしています。お話の世界を楽しみながら、語り方を学び一緒に活動しませんか。

日程 5/18,6/1・15,7/6・20,9/7・21,10/5・12・26(各土曜日/全10回)  
各日10:00~12:00(10回目のみ修了発表会のため、変更の場合あり)  
※コロナ等の影響により変更になる場合があります

場所 大阪ボランティア協会(中央区谷町2-2-20 大手前駅第一ビル2F市民活動スクエアCANVAS谷町)  
地下鉄[天満橋]駅3番出口・[谷町四丁目]駅1-A出口から徒歩5分

人数・条件 お話の語りを通じてボランティア活動や仕事に生かしたい人及び当会に入会希望の人  
定員:20人(※定員を超える場合は、当会への入会希望の方優先)  
参加費:12,000円(資料代込)

申込方法 電話 締切:5/4(土)

問合せ▶ TEL/080-1429-4767

## ①外国にルーツをもつ生徒を支援する教育サポーター募集

大阪府日本語教育支援センター(愛称:ピアにほんご)

<https://pianihongo.org/>

平日

土日祝



大阪府立高校に在籍し、母語による学習・生活支援が必要な生徒をサポートします。  
登録制の有償ボランティア活動です。

日程 通年(必要に応じて)

場所 大阪府下にある府立高校

人数・条件 交通費:上限1,600円

申込方法 Eメール・HP

問合せ▶ TEL/06-7663-4111  
Eメール center@pianihongo.org

## ②南方駅前ゴミ拾いに参加しませんか?

淀川コネクトクラブ

<https://yodocone.jimdofree.com/>

土日祝



週末の駅前をゴミ拾いしていきます。  
町がキレイになり、朝活や朝の運動にもなります!

日程 毎週土曜日・日曜日8:00~9:00

場所 阪急南方駅(淀川区西中島3-17-3)

人数・条件 どなたでも

申込方法 Eメール

問合せ▶ TEL/090-5158-0507  
Eメール k.rametoku57@gmail.com

## ③無料塾(小中学生対象)の講師募集中

無料塾アジハラベース

<https://www.ajiharabase.net/>

土日祝



小中学生対象の無料塾を開いています。  
子どもたちの学習支援に関心のある方の応募をお待ちしています。

日程 毎週土曜日14:00~16:00

場所 アジハラベース(天王寺区味原町7-6)  
地下鉄・JR・近鉄[鶴橋]駅1番出口から徒歩5分

人数・条件 高校生以上

申込方法 Eメール・HP

問合せ▶ Eメール tad@kamigaki-lab.net

### ⑪音訳・点訳ボランティア養成講習会

**大阪市立早川福祉会館点字図書室** 平日

<http://www.lighthouse.or.jp/hayakawa/> 継

見えにくい・見えない人のために、図書や情報を音声や点字で届けてみませんか?初めての方向けの講習です。

**日程** ●音訳<全26回>  
 午前の部 6/20~12/12の各木曜日 10:00~12:00  
 夜の部 6/12~12/11の各水曜日(8/14は休講) 18:30~20:30  
 ●点訳<全19回>  
 午前の部 6/5~10/16の各水曜日(8/14は休講) 10:00~12:00  
 夜の部 6/14~10/25の各金曜日(8/16は休講) 18:30~20:30

**場所** 大阪市立早川福祉会館(東住吉区南田辺1-9-28)  
 地下鉄「駒川中野」駅から徒歩10分、「西田辺」駅から徒歩15分

**人数・条件** ・事前説明会(5/22(水)~5/24(金)のどれか1回)に参加できる人  
 ・講習会修了後、当点字図書室ボランティアとして活動できる人  
 ・パソコンの基本操作ができる人 定員:各20人 参加費:無料

**申込方法** 事前説明会で配布する申込用紙でお申し込みください。

**問合せ**▶ TEL/06-6622-0123 FAX/06-6622-0020 Eメール hayakawa-f@k2.dion.ne.jp

### ⑦天体観察会「月と春の星、月と夏の星を見よう」

**関西で星を学ぶ会** 土日祝

<https://sites.google.com/view/kansaidehoshi/> 単 初

本格的な天体望遠鏡で月と星を見ます。

**日程** 5/18(土)、7/20(土) 19:00~20:30

**場所** 浅香中央公園 中央の広場(住吉区浅香1-6)  
 地下鉄「あびこ」駅4番出口から徒歩8分  
 JR「杉本町」駅から徒歩8分

**人数・条件** どなたでも

**申込方法** 申込不要

**問合せ**▶ TEL/090-8121-6929  
 Eメール k337yjunamg@gmail.com

### ⑫初級手話講習会を開催!

**北区ボランティア・市民活動センター** 平日

<http://osaka-kitakusyakyou.com/> 継 初

手話を覚えてみませんか?6ヵ月で基礎的な手話が身につきます。初級コース修了後、手話サークルでステップアップもできます。ぜひご参加ください。

**日程** 6/7(金)~11/22(金)の毎週金曜日(祝日・第5週は除く) 各日18:30~20:30

**場所** 大淀コミュニティセンター(北区本庄東3-8-2)  
 地下鉄「天神橋筋六丁目」駅6番出口から徒歩8分  
 市バス「天神橋8丁目」から徒歩3分

**人数・条件** 初めて手話を学ばれる方が対象です  
 定員:40人(多数抽選) 参加費:無料

**申込方法** 電話・FAX・Eメール・来所 申込期間:5/1(水)~5/24(金)

**問合せ**▶ TEL/06-6313-5566 FAX/06-6313-2921  
 Eメール kitamail@osaka-kitakusyakyou.com

### ⑧~児童福祉月間事業~「週末里親」を知っていますか

**クレオ大阪子育て館** 土日祝

<https://creo-osaka.or.jp/north> 単 初

さまざまな事情により家庭で暮らせない子どもたちを、週末や夏休み等に家庭に迎える「週末里親」について知る機会とします。

**日程** 6/2(日) 10:30~12:30

**場所** クレオ大阪子育て館(北区天神橋6-4-20 7階)  
 地下鉄「天神橋筋六丁目」駅3番出口から連絡  
 JR「天満」駅から徒歩10分

**人数・条件** テーマに関心のある人 定員:50人(先着順) 参加費:無料  
 ※3ヵ月~小学3年生の一時保育あり(定員あり)  
 ※手話通訳あり いずれも要事前申込5/23(木)締切

**申込方法** 電話・FAX・HP・来所 締切:6/1(土)

**問合せ**▶ TEL/06-6354-0106 FAX/06-6354-0277  
 Eメール info@osaka-kosodate.net

### ⑬第23回 阿倍野区子育てボランティア養成講座

**阿倍野区子育てボランティア養成講座実行委員会** 平日

継 初

「地域で育もう 子育ての輪」  
 子育て支援に興味・関心のある方、子育てボランティアはじめてみませんか!

**日程** 6/18~7/9(毎週火曜日全4回) 10:00~12:00

**場所** 阿倍野区役所ほか(阿倍野区文の里1-1-40)  
 地下鉄「文の里」3番出口から北へ徒歩5分  
 地下鉄「昭和町」1番出口から北へ徒歩10分

**人数・条件** 阿倍野区内の子育て支援に興味・関心のある方 定員:20人(多数抽選)  
 参加費:1,000円(資料・保険代込み)

**申込方法** 電話・郵便・来所 締切:5/31(金)必着

**問合せ**▶ TEL/06-6657-6966

### ⑨知的障がい者ガイドヘルパー養成講座5月コース

**社会福祉法人つむぎ福祉会 生活支援センターコットン** 平日 土日祝

<http://www.tsumugigroup.net/index.php> 継 初

18歳~65歳の方で障がい者福祉に関心と熱意のある方大歓迎!  
 ガイドヘルパーの資格を取って一緒に障がい者の方のサポートをしてみませんか?

**日程** 5/31(金) 9:30~17:00、6/1(土) 10:00~16:40  
 6/2(日)~28(金) ※左記期間どこかで実習2日間  
 6/29(土) 閉講式

**場所** さわやかセンター3階(東住吉区田辺2-10-18)  
 地下鉄「田辺」駅から徒歩10分  
 近鉄「今川」駅から徒歩20分

**人数・条件** 18歳~65歳の方で障がい者福祉に関心があり、全スケジュール受講できる方  
 参加費:テキスト代2,860円※昼食代、実習費別途あり  
 定員:15人(先着順)

**申込方法** FAX・HP・来所 締切:5/20(月)

**問合せ**▶ TEL/06-6626-1811 FAX/06-6625-8260

### ⑭地域活動団体への助成「生活学校助成」

**公益財団法人あしたの日本を創る協会**

<http://www.ashita.or.jp/sgr5.html>

生活学校の趣旨に賛同し、参加を希望する地域活動団体の募集を行い、審査のうえ当協会から活動経費の助成を行います。

**助成金額** ①生活学校への参加 6万円(初年度3万円、2年目3万円)  
 ②全国運動への参加 上限5万円(現在のテーマは「食を通じたこどもの居場所づくり」)  
 (①及び②の両方を助成します)

**助成対象** 以下の①及び②の両方に該当する団体  
 ①身近な地域や暮らしの課題解決に取り組む地域活動団体で、生活学校に参加意向のある団体  
 ②全国の生活学校が連携して行う全国運動に参加意向のある団体

**応募方法** 下記の問合せ先までメールで連絡して申請書類を取り寄せ、必要事項を記入し、活動の様子がわかる会報または資料等(A4サイズ1~枚程度)と併せてメールで提出 ※詳細はHP参照

**応募締切** 4/30(火)必着

**問合せ**▶ 公益財団法人あしたの日本を創る協会 生活学校募集係  
 〒113-0033 東京都文京区本郷2-4-7大成堂ビル4階  
 TEL/03-6240-0778 FAX/03-6240-0779 Eメール ashita@ashita.or.jp

### ⑩淀川かわづくりパートナー登録募集!(淀川発見講座2024)

**淀川管内河川レンジャー** 土日祝

<https://www.river-ranger.jp> 単 初

淀川発見講座を受講して、川のボランティアはじめてみませんか。

**日程** 6/1(土) 9:40~17:40

**場所** 大阪市総合生涯学習センター(北区梅田1-2-2 大阪駅前第二ビル5階)  
 JR「大阪」駅、地下鉄「阪急・阪神」梅田駅

**人数・条件** 淀川流域に在住または通勤・通学している令和6年4月1日時点で満18歳以上の方 定員:60人 参加費:無料

**申込方法** HP 締切:5/23(木)

**問合せ**▶ TEL/072-861-6801

## 19)2024年度 ニッセイ財団 高齢社会助成 「地域福祉チャレンジ活動助成」

### 公益財団法人 日本生命財団

http://www.nihonseimei-zaidan.or.jp

「共に生きる地域コミュニティづくり」を基本テーマに、下記のとおり募集を行います。

**助成対象** 次の3つの要件を満たしている団体(法人格の有無は問いません)  
1.助成テーマにチャレンジする意欲がある団体  
2.他団体・機関・住民組織・研究者等と協働して活動する団体  
3.1年以上の活動実績がある団体

**助成テーマ** 5つのテーマから選択 ※詳細は募集要項参照

**助成金額** 2年最大400万円(1年最大200万円)

**応募方法** HPから申請書をダウンロードの上作成。郵送受付のみ。  
https://www.nihonseimei-zaidan.or.jp/kourei/02.html

**応募締切** 5/31(金)※当日消印有効 郵送のみ

**その他** 「第36回ニッセイ財団ボランティアル」第30回ニッセイ財団「カレッジ」記録集の希望者無料配布を実施中(先着500名様)  
詳細は右記URLよりご確認ください https://www.nihonseimei-zaidan.or.jp/kourei/03.html

**問合せ**▶ 日本生命財団 高齢社会助成事務局 〒541-0042 大阪市中央区今橋3-1-7 日本生命今橋ビル4F  
TEL/06-6204-4013(10:00~17:00) Eメール kourei-tukusi@nihonseimei-zaidan.or.jp

## 20)ボランティア活動資金助成事業(令和6年度)

### 公益財団法人 みずほ教育福祉財団

http://www.mizuho-ewf.or.jp

少子高齢化が進化するなか、共に生きる地域づくりにつながるボランティア活動(特に、高齢者や障がい児者の支援に係るボランティア活動、及び、子ども食堂等の居場所づくりや運営に係るボランティア活動)に対して、必要となる資金を助成します。

**助成対象** ①5人以上で活動し、かつ営利を目的としないグループ・団体(法人格の有無は問わない)  
②グループ・団体結成以来の活動実績:満2年以上(令和6年3月末基準)  
③過去2年以内(令和4年度以降)に当財団から助成を受けていないこと  
④グループ・団体の組織・運営に関する規約(会則)、年度毎の活動報告書類及び会計報告書類が整備されていること(助成決定後、申請団体名義の預貯金口座が必要となります)

**助成金額** 区分A「高齢者、障がい児者の支援に係るボランティア活動」:5~15万円  
区分B「子ども食堂等の居場所づくりや運営に係るボランティア活動」:5~20万円  
※詳細はHP参照

**応募方法** HPから申請書をダウンロードして作成のうえ、都道府県・指定都市または市区町村社会福祉協議会の推薦を受け郵送 ※詳細はHP参照

**応募締切** 6/14(金)必着

**問合せ**▶ 公益財団法人みずほ教育福祉財団 福祉事業部  
〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-6-1 Eメール fjp36105@nifty.com

## 21)第22回「配食用小型電気自動車寄贈事業」

### 公益財団法人 みずほ教育福祉財団

http://www.mizuho-ewf.or.jp

高齢者を対象とした福祉活動を支援するため、高齢者向けに配食サービスを行っている民間団体に対し、配食用小型電気自動車(愛称:みずほ号)の寄贈を行います。

**寄贈内容** 配食用小型電気自動車1台 事業規模:13台(13団体)(予定)

**助成対象** ①高齢者を主な対象とし、原則として、1年以上継続して、週1回以上、調理・家庭への配食・見守り活動を一貫して行っていること  
②非営利の民間団体(法人を含む)であること  
※配食事業がすべて行政からの受託である場合は、当該部門の営業利益が黒字ではないこと  
③配食用の車両が不足しており、本寄贈によって円滑化が見込まれること  
④本寄贈を過去6年以内(令和元年度以降)に受けていないこと

**応募方法** 1.所定の申請書に必要事項を記入の上、都道府県・指定都市または市区町村社会福祉協議会、あるいは全国食支援活動協力会(いずれかの推薦が必要)  
2.推薦団体経由または直接、申請書類一式を送付  
※詳細はHP参照

**応募締切** 6/14(金)必着

**問合せ**▶ 公益財団法人みずほ教育福祉財団 福祉事業部  
〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-6-1 Eメール fjp36105@nifty.com

## 情報 求む!

ボランティアの募集情報や、ボランティア・市民活動に関するイベント・セミナーの告知情報を常時、お待ちしております。どしどしお寄せください。



### 申し込み方法 専用フォームから情報をお寄せください。

https://ws.formzu.net/fgen/S35245908/

申込先・問合せ先 大阪市ボランティア・市民活動センター ボランティア・市民活動情報誌「COMVO」編集部

天王寺区東高津町12-10 TEL/06-6765-4041 FAX/06-6765-5618

Eメール ocvac@osaka-sishakyo.jp (担当:泉・竹澤)

※募集締切は掲載希望号発行月の前々月末日とします。(例:2024年6月15日発行号(7月号)に掲載希望の場合は2024年4月末まで)

### おことわり

※受付・掲載有無について、編集部からはご連絡しません。※申し込み=掲載確定ではありません。誌面に限りもあり、ご希望に添えない場合があります。※掲載された場合は、編集部から問い合わせや申し込み状況などの反響についてお尋ねする場合があります。

## 15)令和6年度 赤い羽根共同募金助成申請受け (令和7年度実施事業対象)

### 大阪府共同募金会

http://www.akaihane-osaka.or.jp

地域福祉の推進を図るための社会福祉活動への助成を行っています。

**助成対象** 大阪府内で社会福祉を目的とする事業を行う法人・団体が、令和7年度(令和7年4月~翌年3月末)に実施する事業

**助成金額** 助成対象団体及び助成対象事業により異なる ※詳細はHPを参照

**応募方法** HPから助成申請書(申請書様式)をダウンロードし、作成のうえ必要な添付書類を添えて提出。 ※詳細はHPを参照

**応募期間** 5/1(水)~5/20(月)

### 問合せ▶ 大阪府共同募金会

〒542-0065 大阪市中央区中寺1-1-54 大阪社会福祉指導センター内

TEL/06-6762-8717 FAX/06-6762-8718

Eメール ai-kibou@akaihane-osaka.or.jp

(件名に「助成金の申請について」と明記してください)

## 16)令和6年度 河原林富美福祉基金助成

### 大阪府共同募金会

http://www.akaihane-osaka.or.jp

故河原林富美氏による遺贈金により設置した基金です。社会福祉の領域で支援を要する事業に助成を行います。

**助成対象** 大阪府内広域で福祉ボランティア活動を行い、一定の要件を満たす団体が、令和6年8月~令和7年3月末に実施する事業 ※詳細はHPを参照

**助成金額** 令和6年度助成枠 500万円以内

1団体につき上限30万円(ただし、申請は1団体1事業に限る)

**応募方法** HP上にある申請書(様式1)をダウンロードして作成し、必要な添付書類を添えてメールにて提出。(※添付書類は郵送可)

**応募締切** 5/31(金)

### 問合せ▶ 大阪府共同募金会

〒542-0065 大阪市中央区中寺1-1-54 大阪社会福祉指導センター内

TEL/06-6762-8717 FAX/06-6762-8718

Eメール ai-kibou@akaihane-osaka.or.jp

(件名に「助成金の申請について」と明記してください)

## 17)2024年度「シニアボランティア活動助成」 「ビジネスパーソンボランティア活動助成」

### 公益財団法人 大同生命厚生事業団

https://www.daido-life-welfare.or.jp/

社会福祉の推進に役立つボランティア活動を行っているか、または行おうとするシニア(年齢満60歳以上)が80%以上のグループ、および、ビジネスパーソン(会社員、団体職員、公務員、経営者、個人事業主)が80%以上のグループ(いずれもNPO法人を含む)。ただし、過去3年以内に当財団の助成金を受けたグループは除く。

**助成額** 2つのボランティア活動助成をあわせて、原則1,200万円以内  
1件 原則10万円。特に内容が優れている場合は20万円限度で助成

**応募方法** HPから申込書をダウンロードし、記入のうえ郵送してください(※HP参照)

**応募締切** 5/25(土)(当日消印有効)

### 問合せ▶ 公益財団法人 大同生命厚生事業団 事務局

〒550-0002 西区江戸堀1-2-1 大同生命大阪本社ビル内

TEL/06-6447-7101 FAX/06-6447-7102

## 18)「第54回毎日社会福祉顕彰」の贈呈先募集

### 公益財団法人 毎日新聞大阪社会事業団

https://www.mainichi.co.jp/osaka\_shakaijigyo/

全国の社会福祉関係の個人や団体から3件を表彰します

**助成対象** (学術)社会福祉の向上に顕著な影響を与えた  
(技術)児童、高齢者、心身障害者などの分野で独創的なスキル、プロセスで効果をあげた

(創意)施設・機器の改善、充実または活動実務で創意工夫や新技術導入で功績をあげた

(奉仕)長年にわたり国際、地域福祉で奉仕活動を続け、将来も継続する強い意志を持つ

(勤勉)社会福祉施設に30年以上勤務し、顕著な成果をあげた

(その他)新しい分野を開き、時代のニーズに応える福祉活動をしている

**助成内容** 受賞者1件につき100万円と賞牌

**推薦方法** 推薦用紙をダウンロードして記入し、必要資料を添付のうえ郵送。自薦無効

**応募締切** 5/31(金) 必着

### 問合せ▶ 公益財団法人 毎日新聞大阪社会事業団

〒530-8251 北区梅田3-4-5

TEL/06-6346-1180 Eメール mainichi-osj@sirius.ocn.ne.jp



## NPO団体 リアルレポート

活発に市民活動に取り組むNPO団体からのメッセージをリアルタイムでお届けします。

# 地域で多世代がつながる居場所をめざして

NPO法人ここから100

アクティブシニアがいつまでも元気で活躍できる居場所を目指し、2018年4月に、社会問題となっている空き家をリノベーションした居場所『ここから100』をスタート。元気に100歳・人生100点満点で人生を楽しんでもらうことを願い、100歳体操・健康麻雀・認知症カフェなどを運営してきました。

また、2019年からは『ここから100』で、アクティブシニアが食事を作るこども食堂を開催。2022年からは、小学校前の築50年の空家に耐震工事を行い、もうひとつのこども食堂として、テイクアウトを中心とした『ここコミュ』もスタート。大阪福祉専門学校の学生さん、東三国中学校同窓生や地域の皆さんなど、たくさんの方々がボランティアで来てくださっています。

1月17日、3月11日には、多世代交流で防災を学びながら、顔の見えるつながりづくりを楽しむ『こども食堂&防災カフェ』を開催。『防災備蓄フェア&春休みこ

<https://cocokara100.com/>

ども食堂』も開催し、いのちを守り、つながりから自助・共助できる地域をつくる一助となるNPOをめざしています。今年の10月には『パークファン』（みんなで公園活用事業）とともに『第3回キャンドルナイト防災&あかりでつながあかるいみらい』を開催予定です。詳細はHPをご覧ください。



ひなまつりこども食堂で、ボランティアの皆さんと一緒に

## ボランティア活動を長く続ける

### 5つのポイント

充実したボランティア活動を、長く続けていくためには次の5つのポイントを参考に、自分にあった活動を探しましょう。

**Point 1** 興味や関心がある事からはじめよう!

**Point 2** 活動は余裕をもって、無理をしない!

**Point 3** 約束やルールは必ず守ろう!

**Point 4** 相手や関係者の立場を尊重しよう!

**Point 5** 万が一に備えてボランティア活動保険に入ろう!



## オリジナルサコッシュをプレゼント!!

いつも情報誌『COMVO』をご愛読いただきありがとうございます。ごぞいます。

P.14上段の読者アンケートにご協力いただいた皆さまの中から抽選で毎号3人に、『COMVO』オリジナルサコッシュをお送りします。

ぜひ、ご意見・ご感想をお聞かせください。

※応募は、ハガキ、FAX、EメールまたはQRコードからお送りください(P.14参照)

両面ポケット付き!!  
肩がけで便利に使える  
小型バッグ

縦220×横170mm



# 学生ボランティア活動

それゆけ!

がんばれ!

連載リレーコラム

No.40

これから社会に飛び出していく学生。さまざまな活動や人との交流ができるボランティア活動。興味を持つきっかけや、現在の活動、そこで出会った人たちや仲間とのエピソードなど、若者たちのリアルな声を届けます。

## 居場所とたくさんの経験をこどもたちに

コロナウイルスのパンデミックが落ち着いて様々な活動が再開し、私も何か新しいことをはじめたい

と想っていた二年前、大学の掲示板で大阪府内にたくさんボランティア団体があることを知りまして。その中でも弟と妹を持つ私は、こどもたちに関わることに興味があったため、『NPO法人西淀川子どもセンター』に所属させていただくことになりました。

こちらのセンターのボランティアでは、主にこどもたちと夕食を共にしたり、ヨガや工作や演劇などに一緒に挑戦したり、時には休日にお出かけしたりします。地域の皆さんとともに様々な活動を通して、家庭や学校のコミュニティとは

別に、こどもたちが安心して過ごせる居場所づくりを目指しています。私自身の幼少期は、両親が共働きで忙しくしていたものの、寂しい思いをすることはありませんでした。それは幸せなこと、学校の先生方や友人、その友人の親御さんなど、周りに恵まれていたからでした。家族との時間には恵まれなくても、周りの人々が私の居場所とたくさん経験を与えてくれました。大学生である今、今のこどもたちにそんな環境を提供する側になりたいと思っています。社会人になって、こどもたちに寄り添いながら、楽しく活動し続けていきたいです。



桃山学院大学 経済学部  
伊藤 凛

### プロフィール

所属団体: NPO法人西淀川子どもセンター  
趣味: 料理・ゆったり旅  
学年: 4年(※2024年3月卒業)

## 学生コラムライター大募集!!

情報誌『COMVO』では、ボランティア活動への思いを寄稿してくれる学生を募集中!!

ボランティアに興味を持ったきっかけや、いま活動していること、そこで出会った人たちや仲間とのエピソードなどを書いてみませんか?

**対象** 大阪市域でのボランティア活動に取り組む学生(大学生・専門学校生・高校生)  
※活動分野は不問。在籍学校は市外でもかまいません。

**内容** 文字数500文字程度(ご本人の写真、活動中の写真もデータでご提供いただきます)

**応募方法** 右のフォームからお申込みください。エントリーいただいた方には折り返しご連絡いたします。

**お問合せ先** 大阪市ボランティア・市民活動センター  
ボランティア・市民活動情報誌「COMVO」編集室  
TEL.06-6765-4041 FAX.06-6765-5618 (担当: 泉・竹澤)

エントリーはこちら ▶



アンケートにご協力ください！

COMVOではよりよい誌面づくりのため、読者の皆さんに毎回アンケートのご協力をお願いしています。あなたのご意見やご感想をお聞かせください。抽選で毎月3人に記念品をプレゼントします。

応募方法

- ①あなたの氏名、郵便番号、住所、性別、職業、年齢、電話番号、本誌入手先、読者歴をお書きください。
- ②下記の1～6の質問の回答をお書きください。

- あなたのボランティア活動歴を教えてください。  
ア なし イ 1年未満 ウ 1～4年 エ 5～9年 オ 10年以上
- 活動歴のある人は活動内容を覚えている範囲で教えてください。
- これまでに情報誌 COMVO を見て、ボランティア活動をしたことはありますか。  
ア ある イ なし ウ まだ迷っている(その理由も教えてください)
- 今月号で良かった記事は何ページですか？その理由も教えてください。
- 本誌で取り上げてほしいテーマや活動、団体、行事、イベントなどがあれば教えてください。
- その他、ご意見、ご感想を記入ください。

①、②の必要事項をFAXかハガキに記入のうえ、当センターまでお送りください。  
※パソコン・スマホからも回答できます。

<https://ws.formzu.net/dist/S38892286/>



(宛先)  
大阪市ボランティア・市民活動センター  
「読者アンケート 情報誌COMVO286号係」まで

(住所は下記参照)

※締め切り 2024(令和6)年5月10日(消印有効)  
※当選者の発表は記念品の発送をもってかえさせていただきます。  
※お預かりした個人情報、本誌の内容向上と、記念品送付の目的のみに使用します。また、募集したテーマについてご意見を誌面に掲載する場合がありますが、個人を特定される記載は行いません。

編集後記

春風が心地いい今日この頃ですが、そんな中、今号の『COMVO』は早くも令和6年度 第1回目の発行号となります。

そんな今号の特集は、令和6年2月3日(土)に開催したシンポジウム『こどもや若者と取り組む 災害にも強い福祉のまちづくり』についての報告です。

令和6年1月1日に能登半島地震が発生したことから、地震はいつ発生するか分かりません。「平時からの防災への取組みについて」を考えるため、また、災害への備えをわたしたち一人ひとりが「我が事」として考えるきっかけになりますので、ぜひご一読ください。



ボランティア・市民活動情報誌  
コンボ  
「COMVO」へ広告募集!

赤字が  
本文 1/5 ページ  
サイズと同じです

「普段着のわたし、ステキにいいこと」をコンセプトにしたボランティア・市民活動情報誌COMVO。

大阪のボランティア・市民活動情報が満載!市民が誰でも気軽に手に入れることができるフリーペーパーに貴社の広告を掲載しませんか。



- 体裁・発行・部数  
B5判 16頁(フルカラー)年10回発行
- 広告申し込み締切  
発行日の2ヶ月前(スペースに限りがありますので、お早めに申してください)
- 申込方法  
下記まで問合せください

広告料金(税込)

掲載箇所 スペース	料金(税込)	版下サイズ(mm)	
表4 1ページ	234,000円	240×170	
表4 1/2ページ	127,500円	117×170	
本文 1ページ	156,000円	257×182	240×170
本文 1/2ページ	85,000円	117×170	
本文 1/5ページ	38,000円	48×162	

※原稿は原寸大の完全原稿(データ)で入稿ください。  
それ以外は別途製版料が必要です。  
※掲載ページの指定はできません。  
※内容により掲載をお断りする場合があります。

社会福祉法人 大阪市社会福祉協議会 ふれあいネットワーク

大阪市ボランティア・市民活動センター

Osaka City Voluntary Action Center

所在地/〒543-0021大阪市天王寺区東高津町12-10大阪市立社会福祉センター1F

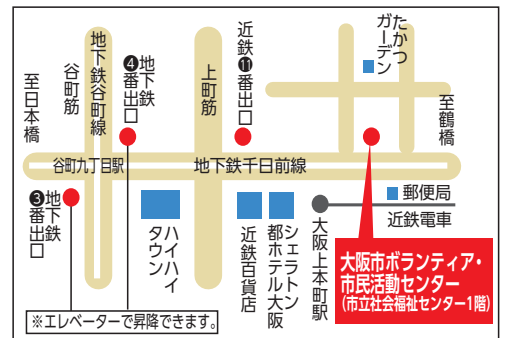
TEL/ 06-6765-4041 FAX/ 06-6765-5618

E-mail/ocvac@osaka-sishakyo.jp <https://ocvac.osaka-sishakyo.jp/>

- 開館時間:午前9時～午後7時(月～金) 午前9時～午後5時30分(土)
- 休館日:日・祝・国民の休日・年末年始 ●発行日:2024年4月15日(8月と1月を除く毎月15日発行)
- 発行部数:40,000部 ●制作協力:商工印刷株式会社 ●点訳協力:NPO法人ぼこ・あ・ぼこ

掲載写真についてはすべて、撮影・掲載の許可を得たものを使用しています。

●本誌は大阪府共同募金会の助成を受けて作成しています



企画・発行

「COMVO」主な設置・配布場所 ウェブサイトからもチェック可能! <https://ocvac.osaka-sishakyo.jp/comvo/>

阪神電車(梅田駅・野田駅)、大阪市サービスカウンター(梅田・難波・天王寺)、各区在宅サービスセンター(区社協)、大阪市役所・区役所、区民センター、フレオ大阪、大阪市内の各区図書館、大阪市立総合生涯学習センター・市民学習センター各館、大阪市商店会総連盟加盟店街、大阪シティ信用金庫府内の店舗など

※OCVAC(大阪市ボランティア・市民活動センター)では、バックナンバーの閲覧、入手も可能です。

twitter <http://twitter.com/ocvic1998> Facebookページ <https://www.facebook.com/ocvac>

森が戻ってきた。  
鳥や虫や動物が戻ってきた。  
みんなに笑顔が、戻ってきた。



再生プロジェクトを行っているパリヤン地区の小学校の児童から贈られた絵。  
「わたしたちを守って!」という動物たちのメッセージをこめて、描いてくれました。

## インドネシア熱帯林の再生プロジェクト

きっかけは、私たちが毎日使っている紙の原料となる木材を少しでも地球に返したいという思い。  
たくさんの生き物が暮らす森を取り戻すことで地球温暖化を防ぎ、生物多様性を守ること。  
そして、地元の人々の生活を助けること。  
地元の子どもの明るい笑顔を力にして  
私たちは これからも、未来を育む活動をつづけていきます。



立ちどまらない保険。

**MS&AD 三井住友海上**

三井住友海上火災保険株式会社 [www.ms-ins.com](http://www.ms-ins.com)

## 24区ボランティア・市民活動センター一覧

ボランティア活動に関するご相談をお気軽にお寄せください。

名 称	所 在 地	電話(06)	FAX(06)
北区ボランティア・市民活動センター	北区神山町15-11 いきいきネット	6313-5566	6313-2921
都島区ボランティア・市民活動センター	都島区都島本通3-12-31 ふれあいセンター都島	6929-9500	6929-9504
福島区ボランティア・市民活動センター	福島区海老江6-2-22 あいあいセンター	6454-4553	6454-6331
此花区ボランティア・市民活動センター	此花区伝法3-2-27 此花ふれあいセンター	6462-1224	6462-1984
中央区ボランティア・市民活動センター	中央区上本町西2-5-25 ふれあいセンターもも	6763-8139	6763-8151
西区ボランティア・市民活動センター	西区新町4-5-14 にしながほり	6539-8075	6539-8073
港区ボランティア・市民活動センター	港区弁天2-15-1 ひまわり	6575-1212	6575-1025
大正区ボランティア・市民活動センター	大正区小林西1-14-3 大正区ふれあい福祉センター	6555-7575	6555-0687
天王寺区ボランティア・市民活動センター	天王寺区六万休町5-26 ゆうあい	6774-3377	6774-3399
浪速区ボランティア・市民活動センター	浪速区難波中3-8-8 浪速区在宅サービスセンター	6636-6027	6636-6028
西淀川区ボランティア・市民活動センター	西淀川区千舟2-7-7 ふくふく	6478-2941	6478-2945
淀川区ボランティア・市民活動センター	淀川区三国本町2-14-3 やすらぎ	6394-2900	6394-2978
東淀川区ボランティア・市民活動センター	東淀川区菅原4-4-37 ほほえみ	6370-1630	6370-7330
東成区ボランティア・市民活動センター	東成区大今里南3-11-2 ひがしなり	6977-6336	6977-6339
生野区ボランティア・市民活動センター	生野区勝山北3-13-20 おかちやま	6712-3101	6712-3001
旭区ボランティア・市民活動センター	旭区高殿6-16-1 あさひあったかセンター	6957-2200	6957-7282
城東区ボランティア・市民活動センター	城東区中央2-11-16 ゆうゆう	6936-1153	6936-1154
鶴見区ボランティア・市民活動センター	鶴見区諸口5-浜6-12 鶴見区在宅サービスセンター	6913-7070	6913-7676
あべのボランティア活動センター	阿倍野区帝塚山1-3-8 阿倍野区在宅サービスセンター	6628-3434	6628-9393
住之江区ボランティア・市民活動センター	住之江区御崎4-6-10 さざなみ	6686-2234	6686-0400
住吉区ボランティア・市民活動センター	住吉区浅香1-8-47 いきいき	6607-8181	6692-8813
東住吉区ボランティア・市民活動センター	東住吉区田辺2-10-18 さわやかセンター	6628-2020	6622-8973
平野区ボランティア・市民活動センター	平野区平野東2-1-30 にこにこセンター	6795-2200	6795-2929
西成区ボランティア・市民活動センター	西成区岸里1-5-20 はぎのさと	6656-0080	6656-0668